

分野：②

堀兼・赤坂の森でアカマツとヤマツツジを元気にしよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 おおたかの森トラスト・
こどもエコクラブ（35人）

所要時間



4 時間

場所 堀兼・赤坂の森のおおたかの森 2 号地

実施時期

令和 3 年 12 月 19 日

概要

埼玉県と狭山市とおおたかの森トラストが購入して保全活動をしているおおたかの森 2 号地で、冬の生きもの探しをしながら、アカマツとヤマツツジを元気にする活動を行う

プログラムの
ねらい

植樹をしたアカマツとヤマツツジを覚えてもらい、アカマツの周りで大きく育ったリョウブやコナラ、ヤマウルシを見つけ、ノコギリや太枝切りバサミ、剪定鋏を切りだす。切った樹木は数か所に積んで虫元気にする。明るくなった場所にはアカマツやヤマツツジだけでなくリンドウ、スミレ、ヤマユリなどが咲き出す。こうすることによって明るくなった

プログラムの内容

1 集合場所か徒歩で現地へ（15分）

途中、森の中の生きものを探しながら歩く

2 活動内容の説明と道具の確認（15分）

残し樹木（アカマツとヤマツツジ）の見分け方、ノコギリ、太枝バサミ、剪定鋏の使い方と数の確認をする。友達に怪我が無いようお互いに気を配る。

木の伐り倒しかたの説明。希少な野草の見分け方。

3 午前の活動（90分）

4 お弁当タイム（40分）

森の中で分かれて食事

5 午後の活動（40分）

6 道具の確認（15分）

7 感想（10分）

8 解散場所へ徒歩で（15分）



受講者の反応

去年はアカマツが途中から切られていたが今年は無事で良かった。ヤマツツジの見分けは難しかったが少し覚えられた。スミレの葉が見つかった。大きなスズメバチの巣が高い枝にできていたが冬は使っていないと言われて安心した。コロナで外に出られない日が続いているが、久しぶりに大きな森の中で汗をかいて気持ち良かった。大きな太枝バサミが使えるようになった。ノコギリで木を伐って倒す時にはお友達に手伝ってもらった。